

2022年6月25日(土)

ヒヌマイトトンボ観察会

ヒヌマイトトンボは全国的に数が少なく、環境省、山口県とも最高ランクの絶滅危惧Ⅰ類に指定されている貴重なトンボですが、知名度は低く、あまり注目されません。そんな貴重なトンボが、園内では2014年以降毎年確認されているので、ヒヌマイトトンボを知ってもらうために観察会を行いました。



始めにヒヌマイトトンボのお勉強。単に数が少ないだけでなく、汽水域に生息し、雨の日のほうが活発に活動する、珍しい生態の持ち主です。



ヒヌマイトトンボはとても小さなトンボなのですが、イメージしやすいように、羽化殻を見てもらいました。ヤゴは2cmほどです。



比較のために、同じ場所に生息する、似たアオモンイトトンボの羽化殻と並べました。これを見ると、一回り小さいことがわかります。



外は雨、傘を差して移動します。途中で立ち寄ったヨシ原の一角は、ヒヌマイトトンボが園内で初めて見つかった場所です。



園路にはアカテガニがいっぱい。雨の日ならではの。



汽水性植物池に到着しました。この先が生息地です。



雨で滑りやすくなっているので、足元に注意して木道に降ります。



そして参加者全員でヒヌマイトトンボの大搜索です。ヒヌマイトトンボは小さいうえに、水面近くの低い場所にとまっていることが多く、のぞき込むようにしないと見つかりません。



そして
ついに

参加者から発見の報を受けて行ってみると、アオモンイトトンボでした。



お目当てのヒヌマイトトンボを発見。小学生の参加者のお手柄です。



見やすい場所にオスが出てきていました。ヒヌマイトトンボは、後頭部と胸の上部に4つの緑色の斑紋があるのが特徴です。実物を見て、みなさん改めてその小ささに驚いていました。そして暗い中、上から見ると、黒い体に斑紋が緑色の星のように浮き出し、美しさにも驚いていました。

雨の中の観察は大変でしたが、雨が降ったからこそヒヌマイトトンボが見やすい場所に出てきていたのです。傘を差して探した甲斐がありました。